

「新年スペシャル！わかさわんの文化体験食・書編」(R5.1.15(日))

◆ 目的

- ・ 創造的な書道の体験を通して、日本の伝統的な「書」の文化を身近に感じる機会を提供する。
- ・ 若狭地域にゆかりのある食材を用いて料理体験を行うことで、自分たちの生活と地域の食文化の関わりについて興味をもつ機会を提供する。

◆ 参加実績

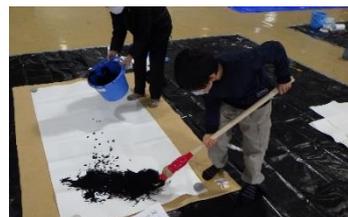
- ・ 小学生を含む8家族
- ・ 福井県、滋賀県より、8家族28名(幼稚園年長1名 小学生12名 中学生1名 保護者14名)



↑料理体験の様子



↑書道体験の様子①
家族ごとで大筆を作成



↑書道体験の様子②
作成した筆で書初め

◆ 日程 1月15日(日)

時間	内容
10:00~10:30	受付、はじまりのつどい
10:30~13:30	「食」の体験 家族で料理体験 ・へしこのポテトサラダ ・にんじんのサラダ ・山内かぶらのスープ ・鶏と梅の炊き込みご飯
13:45~15:45	「書」の体験 大筆作り 書初め体験
15:45~16:00	アンケート、解散

◆ 成果

- ・ 実際に若狭地域でフードクリエイターとして活躍している講師と連携し、地域の食材を使った料理体験を行った事で、若狭地域の様々な食材を知る機会を提供できた。
- ・ 若狭地域の食材を実際に調理し、食べる事で食材に興味を持つだけでなく身近に感じられる機会を提供できた。
- ・ 大きな筆を作る際に、家族で工夫をしながら協力している姿が見られた。
- ・ 参加者が思い思いの作品を創作している姿が見られた。
- ・ 自分たちで作成した筆や大きな書初めに愛着を持ち、家に持ち帰る人が多数見られた。
- ・ 書道を楽しむだけでなく、文字の成り立ちや筆の成り立ちなど様々な事に興味を持つ姿が見られた。

◆ 参加者の声

【子ども】

[食の感想]

- ・ 食の体験をもう一回したい。
- ・ 山内かぶらをもう一度使ってハンバーグなどを作りたい。
- ・ 食べたことがないものを作ったから家でもやってみよう。

〔書の感想〕

- ・ 大きな筆で書けて楽しかったです。
- ・ 習字がきれいにかけて楽しかったです。
- ・ 筆はおもしろかったからまたやりたいと思った。
- ・ 書道は大胆に書けて楽しかった。

〔全体の感想〕

- ・ 家族で協力できて楽しかった。
- ・ 食の体験も書の体験も初めての体験ができたのですごく楽しかった。

【保護者】

〔食の感想〕

- ・ 食材のうまみ、美味しさを実感しました。
- ・ 地元野菜などを使った料理、美味しかったです。
- ・ 素晴らしい講師を知れた。

〔書の感想〕

- ・ 大きい文字を書くのはストレス解消になりました。
- ・ 筆作りからやらしてもらいとても良い体験でした。
- ・ 少し書にふれてみたくなりました。

〔全体の感想〕

- ・ 子ども達が楽しく体験してくれてよかったです。
- ・ 普段できない体験ができとても良かったです。
- ・ 食と書の組み合わせがおもしろいと思いました。
- ・ 家や学校ではできない思い切ったことができ楽しかったです。
- ・ また今回のような企画があれば参加したい。

◆ 事業運営のツボ・工夫・反省

【準備】

- ・ 食の講師である藤本氏とは、事業の趣旨を共有したことで、対象者にふさわしい料理工程を含む地元野菜を用いた4品の料理を提案していただく事ができた。
- ・ 書の講師である岸本氏とは実際に当日をイメージしながら打ち合わせを行った。幅広い年代の参加者が楽しめるようなプログラムの進め方や書の楽しみ方などを提案していただくことができた。
- ・ 食の体験、書の体験どちらにおいても“自分で作る”という活動をいれる事で興味を持ちやすく身近に感じられるように心がけた。
- ・ 事業の広報では、地域の小学校へのチラシ配布だけでなく、LINE や Facebook 等の SNS を活用することで定員を超える応募があった。

【運営】

- ・ しおりの裏にレシピメモ欄を設けた事でメモをとられている姿が見られた。このことにより自宅での再現も可能になったのではないかと考える。
- ・ 親1人に対しての子ども的人数が多い家族もあったため、作業の進行度合いに差が見られた。大幅に遅れる家族はなかったものの、より多くの職員やボランティアを配置した方がスムーズな進行につながったと考える。
- ・ 書の体験ではゆとりを持った時間設定をした。筆を作る・書を楽しむ、とわかりやすいゴールを最初に示した事で、家族ごとのペースで楽しむ姿が見られた。また子どもだけでなく保護者の方々も書道に取り組み、自由に書いている姿が見られた。
- ・ 書の体験は広い部屋で行うようにし、ブルーシートを広めにとる事でのびのびと活動ができるように環境を整えた。そのため活動中には、体を大きく使って書に取り組む姿が見られた。
- ・ 筆作り、書道、片付けとすべてにおいて協力しないとできないプログラムとしていたため、家族ごとで声を掛け合い協力する姿が見られた。
- ・ 片付けでは、文字での表示に加えて、実物で片付け方の例を示す工夫をした事でスムーズに片付けを終える事ができた。